

薬学部奨学生、募集しています。

大阪ファルマプランには、薬学部に通っている大学生対象の奨学金制度(返済免除規定有)があります。薬剤師になりたいけれど、学費が心配で大学への進学が難しい。そんな学生さんにも安心して学んでもらう為の制度です。地域医療に関心があって、将来ファルマプランの薬剤師として一緒に働いてくれるなら何年生からでもご応募いただけます。



詳しくは QR コードを
読み取ってください



奨学生になると、ファルマプランの活動報告会などのイベントに参加して、地域の中で薬局や薬剤師がどのような活動をしているのか、将来薬剤師としてどんな仕事をしていくのか、具体的にイメージしてもらえるようにサポートしています。また、医学生や看護学生など他の医系学生と、学習会やイベントで交流することもあります。

地域の皆さんのご協力もいただきながら、将来の地域医療を担う学生を育てていく活動を続けていきます。

薬学部に入學・通学している学生さんをご存じでしたら、ぜひファルマプランの奨学金制度をご紹介ください。

(ファルマプラン 本部 稲垣 あい)

春の感染症～溶連菌感染症～

溶連菌感染症は溶連菌、正式には溶血性連鎖球菌と呼ばれる細菌に感染することで起こる感染症です。一年中かかることのある感染症ですが、流行時期は、12～3月と7～9月に多い傾向があります。

溶連菌感染症の主な症状は喉の痛み、発熱、発疹で、特に発熱は40℃の高熱となることもあるので注意が必要です。潜伏期間は2～5日で初期症状として、まずは発熱と喉の痛みがあらわれることが多く、それと同時にまたは、1～2日遅れて発疹の症状があらわれることがあります。子供の場合は、吐き気や腹痛をとまなうことがあります。

その他、免疫力が低下していたり、喉以外の場所に感染したりすることで、中耳炎や、副鼻腔炎、伝染性膿痂疹(とびひ)、蜂窩織炎(皮膚の深いところから皮下脂肪組織にかけて化膿性の炎症を起こす)、肺炎を起こす場合があります。子供だけでなく大人もかかることがある感染症です。

感染経路は飛沫感染と接触感染

主な感染経路は、飛沫感染と接触感染です。

《飛沫感染》感染している人の咳やくしゃみなどに含まれる細菌を吸いこむことで感染します。

溶連菌感染症では咳の症状はほとんどみられませんが、他のことが原因で咳やくしゃみをすることで溶連菌が飛び散り、それを吸いこむことで感染につながります。

《接触感染》手指やもの、食品などについての細菌が主に口から体内に入ることによって感染します。

水ぶくれ(水疱)状の発疹の中の液体には溶連菌が存在しているため、その液体を触れた手指などを介して感染することがあります。発疹の症状がでている場合は注意が必要です。

乳児の場合はなめて唾液がついたおもちゃなどを介して感染することがあります。





くなります。

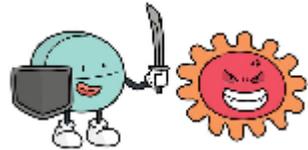
溶連菌の感染力は強く、兄弟間での感染率は25%~50%という報告もあります。最も感染力が強いのは症状がではじめたころです。その後は徐々に感染力は弱まり、治療薬である抗生物質を飲むと、そこから24時間以内には感染力はな

風邪症状との類似に注意！

溶連菌感染症の特徴的な症状は、発疹やイチゴ舌ですが、これらは必ずあらわれる症状ではありません。よくあらわれる症状は、喉の痛みや腫れ、発熱や倦怠感のように、一般的な風邪とよく似ているため、区別が付きにくい場合があります。

一方で、咳や鼻水の症状がでにくいという特徴があります。咳や鼻水がでていないのに、喉の痛みをともなう風邪のような症状があらわれた場合は、溶連菌感染症かもしれません。

このような症状があった場合は、症状が軽いからと自己判断せず、他の人に感染させてしまう可能性や合併症の危険もあるため、医療機関を受診しましょう。



お薬は必ず飲み切りましょう！

治療には、ペニシリン系やセフェム系などの抗生物質を使用します。それぞれの抗生物質は、服用する期間が決まっています、どの種類でも10日前後は確実に服用する必要があります。症状がよくなったと思って、自己判断で薬を飲むことをやめてしまうと、治りきらなかったり、合併症を引き起こしたりすることになります。処方された薬は医師の指示に従い、必ず飲み切るようにしましょう。

その他に、発疹のかゆみには、塗り薬タイプの抗ヒスタミン薬が処方されることがあります。

大人も注意！

子供がかかることが多い溶連菌感染症ですが、大人が感染することもあります。大人が感染しても、典型的な症状が出ることは少ないですが、免疫力が低下している場合などは子供と同様の症状があらわれます。このように症状が出にくいことや、症状が出ても単なる風邪と済ませてしまうことで、大人の溶連菌感染症は医療機関の受診につながりにくく、治療の開始が遅れがちです。

その一方で、大人は子供に比べて、溶連菌感染症の合併症である急性糸球体腎炎になる頻度は低いのですが、もしなってしまった場合は子供より治りにくい。うえ、腎臓の障害が継続する確率も子供より高いという報告もあります。免疫力が低下している高齢者などは、肺炎を引き起こすこともあります。溶連菌感染症の典型的な症状(発熱・喉の痛み・発疹)がでた場合はもちろん、喉の痛みはあるのに咳や鼻水はでないような場合などは、ただの風邪と思わずに、医療機関を受診して溶連菌の検査を受けましょう。

予防と対策

溶連菌感染症にワクチンはありません。そのため、予防としては、感染者との接触を避けることが最も重要です。そして手洗いやマスクの着用を行いましょう。その他には、食器の共有をしないことも有効です。

(あおぞら薬局淡路店 伊戸 郷美)



4月

(一社)大阪ファルマプラン

〒555-0024 大阪市西淀川区野里 3-6-8
<http://www.faruma.co.jp/>

あおぞら薬局(西淀川区野里)	06-6477-8080
そよかぜ薬局(西淀川区姫島)	06-6475-4670
すずらん薬局(西淀川区大和田)	06-6476-0121
あおぞら薬局 淡路店(東淀川区西淡路)	06-6160-0025
あおぞら薬局 三国店(淀川区西三国)	06-6394-3630
もえぎ薬局(淀川区加島)	06-6886-4770
すみれ薬局(大正区千島)	06-6556-3808
なぎさ薬局(港区磯路)	06-4395-7600
あおば薬局(吹田市南高浜町)	06-6318-3787
かがや薬局(住之江区西加賀屋)	06-4702-3101
なつめ薬局(住吉区沢之町)	06-6699-9977
こつま薬局(西成区松)	06-6656-6007
福祉用具レンタル介護ショップふあるま	06-6477-8180

(西淀川区野里)



発行年月日

2022年4月1日

